

# 1) 全国の河川及びダム湖における生物の確認種数の状況

河川（1級水系119河川、2級水系33河川）及びダム湖（84ダム）における調査結果は、主に以下のとおりです。

**河川で「日本野生生物目録」掲載種の約8割の魚類を確認**

**河川で「日本産鳥類目録」掲載種の約5割の鳥類を確認。**

**ダム湖で「日本野生生物目録」掲載種の約4割の両生類を確認。**

平成13年度の河川水辺の国勢調査における現地確認種数を下表にとりまとめました。調査結果をみると、魚類のうち淡水魚、汽水魚（「日本産野生生物目録」掲載種）については、日本に生息する魚類の約80%が河川で、約70%がダム湖の河川水辺の国勢調査で確認されています。また、河川では鳥類の約46%、ダム湖では両生類の約39%の種が確認されています。

表 平成13年度調査における現地確認種数（平成14年10月1日現在）

	調査項目	確認種数	「日本産野生生物目録」等掲載種数	確認率 / × 100
河川	魚類（淡水魚・汽水魚）	260(158)	200	79%
	底生動物	878	-	-
	植物	2,551	8,118	31%
	鳥類	260	568	46%
	両生類	21	59	36%
	爬虫類	15	87	17%
	哺乳類	57	188	30%
	陸上昆虫類等	5,960	33,220	18%
ダム	魚類	135	200	68%
	底生動物	628	-	-
	植物プランクトン	192	-	-
	動物プランクトン	105	-	-
	植物	2,225	8,118	27%
	鳥類	170	568	30%
	両生類	23	59	39%
	爬虫類	11	87	13%
	哺乳類	61	188	32%
	陸上昆虫類等	5,035	33,220	15%

注1) 植物と鳥類を除く各調査項目は、環境庁「日本野生生物目録」の種数を掲載。

注2) 植物は環境庁「植物目録1987」の維管束植物の種数を掲載。

注3) 鳥類は「日本産鳥類目録改訂第6版」の種数を掲載。

注4) 魚類の「日本野生生物目録」の200種は淡水魚、汽水魚が対象。河川での国勢調査結果では海水魚を含む。(158)はそのうち「日本野生生物目録」に記載されている淡水魚、汽水魚の種数を示す。

注5) 底生動物と動植物プランクトンは、掲載されていない分類群があるため、種数の比較は行っていない。